



NEWS RELEASE

2013 年 10 月 29 日

Misfit ウェアラブル、アクティビティ・モニタ「Misfit SHINE」にシリコンラボの 32 ビット EFM32 Leopard Gecko MCU を採用

ウェアラブル・フィットネス計の優れた電力効率を支えるシリコンラボの GECKO MCU

卓越したアナログ設計技術で、高性能ミックスシグナル IC を設計・販売する[シリコン・ラボラトリーズ社](#)(本社: ミネソタ州オースチン、Nasdaq: SLAB、以下:シリコンラボ)は、ウェアラブル・コンピュータの設計および製造を行う米 Misfit ウェアラブル(Misfit Wearables、以下: Misfit)社が、シリコンラボの EFM32™ Leopard Gecko 32 ビット・マイクロコントローラ(MCU)を、世界で最もエレガントなアクティビティ・モニタ「Misfit Shine™」の省エネルギー・コントローラに採用したことを発表しました。Gecko MCU は Shine の 3 軸加速度計との通信、ユーザ・インタフェース LED の駆動、Wicentric Bluetooth® 低エネルギー・ソフトウェア・スタックのホスト、iPhone や iPad などの Apple iOS デバイス上で動作する Shine アプリとの接続を、極めて優れたエネルギー効率で実現します。

Misfit Shine は、現在急成長しているウェアラブル・コンピューティング・デバイス市場に向けた製品です。IMS Research (IHS Electronic Media の一部門)によれば、スポーツおよびフィットネス・モニター、ランニングおよびサイクリング・コンピュータ、その他の身体活動量計の世界全体における出荷台数は、2013 年の 4,380 万台から増加して 2017 年には 5,620 万台に上る見込みです。IMS は、今後 5 年間で計 2 億 5,200 万台の出荷を予測しています。IMS が昨年実施した類似の調査では、定期的に運動をするスマートフォン・ユーザの 62.3% が、携帯型ヘルス・フィットネス・アプリと、スマートフォン・アプリに接続する Misfit Shine のようなフィットネス・センサに興味を示しました。

電池で駆動する他の携帯型デバイスと同様に、Shine のウェアラブル活動量計には、電池寿命を延ばすために最高レベルのエネルギー効率が求められます。Shine は充電式電池の代わりにユーザが自分で交換できるコイン型リチウムイオン電池(CR2032)を使用し、この電池 1 個で 4 か月間動作します。数日おきにデバイスを充電する必要がないため、電池の交換時期になるまで続けて装着することができ、毎日のフィットネス活動を途切れなくモニターすることができます。

Misfit の設計チームが Leopard Gecko MCU を選定した理由は、全エネルギー・モードを通して業界最高レベルのエネルギー効率を誇り、最適な処理性能と小型パッケージでの高集積化を実現しながら、並外れた電池寿命を可能にするためです。Misfit は極めてエネルギー量が低いため、Leopard Gecko MCU の低エネルギー・センサ・インタフェース(LESENSE)と「PRS (Peripheral Reflex System)」は特に魅力的な機能でした。LESENSE インタフェースでは、MCU がディープ・スリープ・モードの間でもセンサ・データを自律的に収集および処理します。センサ・ステータスやイベントを追跡しながらも、MCU を長時間低エネルギー・モードにしておくことができます。PRS は、長

シリコンラボ、業界トップのエネルギー効率と 32 ビット性能を実現する新製品「EFM32 Zero Gecko」MCU ファミリーを発表

時間にわたり CPU をエネルギー消費の少ないスリープ・モードにしたまま、複雑なシステムレベルのイベントを監視し、複数の MCU 間の自律的な通信を可能にすることで、システム全体の電力消費を低減します。

Misfit の共同創業者で CEO の Sonny Vu 氏はこうコメントしています。「Shine のようなウェアラブル・コンピュータで究極のエネルギー効率を達成するのは、極めて大きな課題です。私たちが探していたのは、高度なアルゴリズムを扱うと同時に大容量のデータを処理および送信でき、動作検知用の加速度計とシームレスにやりとりでき、非現実的なほど小さい面積に収まる 32 ビットのエンベデッド・コントローラでした。Leopard Gecko MCU は、Shine の低エネルギー、データ集約型の要件にまさに最適でした。また、シリコンラボの Simplicity Studio 開発ツールのおかげで、当社の設計チームは非常に短い期間で設計手法を習得でき、市場投入期間の短縮という重要なニーズも満たされました。」

Simplicity Studio は、EFM32 Gecko MCU アプリケーションのための総合的なグラフィカル開発環境であり、開発者に無償で提供され、開発者はエネルギー効率の良いアプリケーションを迅速に開発するために必要な、すべての情報、ドキュメント、energyAware ツール、ソフトウェア、ソース・コード・ライブラリにシングル・クリックでアクセスできます。Simplicity Studio の主要な構成ツールには、低消費電力エンベデッド・システムを開発するための使いやすいデバッグ・ツールである energyAware Profiler、時間がかかる I/O ピン干渉のデバッグ作業を支援する energyAware Designer があります。

シリコンラボでマイクロコントローラ製品担当シニア・バイス・プレジデント兼ゼネラル・マネージャを務める Geir Førre はこうコメントしています。「Shine のフィットネス活動量計は、内側から外側までエレガントなデザインを具現化しています。私たちは、Misfit のウェアラブル・コンピュータ市場投入の一助となれたことを嬉しく思います。Shine はまた、最近急増しているエネルギー重視の電池駆動小型ワイヤレス・デバイスの代表格でもあります。エネルギー効率の良い EFM32 Gecko MCU はこういったアプリケーションに極めて適しています。」

Shine について

Misfit Shine は、体のどこにでも、どのような状況でも身に付けることのできるエレガントな身体活動量計(アクティビティ・モニタ)です。活動量の目標を Shine アプリで設定し、体に装着します。Shine は、腰、首、手首、靴、胸、シャツなど、体のどこにでも付けることができます。Shine をタップすると、一日の活動目標に対する進行状況が金属シェル上に光で表示されます。強度に優れ、50m までの防水性を持つため、水泳に適しています。航空機用アルミニウムのブロックから削りだした本体は、極めて長い期間使用できるよう設計されています。スマートフォンとの同期は、Shine をスマートフォンの画面上に置くだけで、あっという間にデータが転送されます。ユーザが自分で簡単に交換できる一般的なコイン型電池で駆動する Shine は、4 か月電池交換なしで動作します。同期や充電のためのケーブルはありません。詳細については、www.misfitwearables.com/shine を参照してください。

EFM32 Leopard Gecko MCU について

世界で最もエネルギー効率の良い MCU ポートフォリオの製品である EFM32 Leopard Gecko MCU ファミリーは、ARM® Cortex®-M3 プロセッサ、最大 256kB のフラッシュ・メモリ、オプションの USB 接続、ダイレクト・ドライブ TFT、最大 48MHz の CPU 速度、従来 Gecko ファミリーと同様の自律的低エネルギー周辺装置(AES 暗号化、パルス・カウンタ、低エネルギー UART、LESENSE インタフェース、オンチップ・オペアンプ)を搭載しています。

Misfit ウェアラブル、アクティビティ・モニタ「Misfit SHINE」にシリコンラボの 32 ビット EFM32 Leopard Gecko MCU を採用

EFM32 Gecko MCU は、幅広いモノのインターネット (Internet of Things: IoT)、グリーン・エネルギー、携帯型の電池駆動アプリケーションに対応するため、システム・エネルギー消費を最低限に抑えるよう設計されています。

Misfit Wearables 社について

Misfit は、常時、長時間身に付けることのできる、高度なウェアラブル製品の開発に注力しています。台頭しつつあるウェアラブル製品市場のパイオニアとして、よりアクティブで健康的な生活習慣を身に付けるために役立つ消費者向け健康フィットネス分野の製品とサービスを開発しています。Misfit の最初の製品が、受賞歴を誇り、スマートフォンの画面に置くだけで瞬時に同期できるエレガントな身体活動量計の Shine です。Misfit は、Sony Vu、Apple 社と Pepsi 社の CEO を歴任した John Sculley、AgaMatrix 社の共同創業者で CTO の Sridhar Iyengar が 2011 年に創立しました。投資会社の主幹事には Founders Fund と Khosla Ventures、その他の投資会社として Norwest、OATV、Max Levchin、incTANK などが名を連ねています。

シリコン・ラボラトリーズ社について

シリコン・ラボラトリーズ社 (Silicon Laboratories Inc.、本社: 米テキサス州オースチン、www.silabs.com) は、卓越したアナログ設計技術で高性能なミックスドシグナル IC を幅広いアプリケーション向けに設計する、業界大手半導体メーカーです。シリコン・ラボラトリーズ社の多様な高集積製品と特許は、ミックスドシグナル設計において長年にわたる経験と実績を有する業界最先端のエンジニアリング部門が開発しています。シリコン・ラボラトリーズ社は、北米、ヨーロッパ、アジアの各地に設計、エンジニアリング、マーケティング、販売、アプリケーションの拠点を置いています。会社概要・事業内容の詳細は、www.silabs.com をご覧ください。

ご注意

このプレスリリースには、シリコン・ラボラトリーズ社の現時点における期待に基づく予測が含まれていることがあります。このような発言にはリスクと不確実性が伴います。様々な重要な要素が原因となって、予測とは異なる結果になることもあります。シリコン・ラボラトリーズ社では、投資家の方々に社の将来性をお伝えすることが重要と考えますが、正確な予測や管理が不可能な事態が今後発生するかもしれません。シリコン・ラボラトリーズ社の財務成績に影響を与え、実績が将来的記述と著しく異なる場合の要因の詳細については、シリコン・ラボラトリーズ社が米国証券取引委員会 (SEC) へ最近提出した書類をご覧ください。

###

Silicon Laboratories, Silicon Labs, Silicon Laboratories ロゴ、EFM, EFM32, EFR, Energy Micro, Energy Micro logo, combinations thereof, “the world’s most energy friendly microcontrollers” は、Silicon Laboratories Inc. の登録商標・商標です。ARM, Cortex-M0/M0+/M3/M4, Keil は ARM Limited の登録商標・商標です。その他の登録商標・商標は、それぞれの所有者にその権利が帰属します。

報道関係者お問合せ先

シリコン・ラボラトリーズ社 Dale Weisman (グローバル広報マネージャ)

TEL: (米国) 1-512-532-5871 E メール: dale.weisman@silabs.com

シリコンラボ、業界トップのエネルギー効率と 32 ビット性能を実現する新製品「EFM32 Zero Gecko」MCU ファミリーを発表

公式 Twitter アカウント <http://twitter.com/silabs> 公式 Facebook アカウント <http://facebook.com/siliconlabs>

シリコンラボ製品紹介サイト www.silabs.com/parametric-search.

ミアキス・アソシエイツ 河西 TEL: 0422-47-5319 E メール: kasai@miacis.com

記事ご掲載時のお問合せ先

シリコン・ラボラトリーズ Y.K. TEL: 03-5460-2411(代表) www.silabs.com